

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

読者の多くのみなさんはまず表紙を見られると思いますが、今月号の表紙が従来から変わっていることに気づかれた方が多いのではないかと思います。

昨年1月号より「建設の機械化」がA4判化され、編集委員会としても、読者にとってより読みやすい誌面の提供に向けて積極的な取り組みを進めてきておりますが、その取り組みの第二弾として表紙の構成の見直しを検討してきました。

従来は建設機械の写真、それも販売用のパンフレットに用いられているような、いわば広告的な写真が表紙を飾っており、日本建設機械化協会の機関誌の表紙としてそれが適切かどうかという議論を行いました。その結果、まず、表紙の写真としては、当該号の特集テーマの内容と合致した写真で、できるだけ実際の施工現場で使われている状況を表したものを採用するという方針に改めていくことにしました。この表紙用写真の見直しについては、既に気づかれている方もいらっしゃるかと存じますが、昨年9月号より新しい方針に基づいて選定された写真が用いられております。

次に、表紙のデザインの見直しについて編集委員会で議論がなされま

した。表紙のデザインは「建設の機械化」の大事な顔であることは言うまでもありませんが、他誌の表紙のデザインと横並びさせて比較してみると、白抜き部分の面積があまりにも多く視覚的に訴える点が弱いこと、読者がページを開いて中味を読んでもみようと思いたくなるような工夫がないこと等の問題点が指摘されました。

そこで、編集委員会で議論を行い、節目となる2004年1月号より表紙のデザインと構成をご覧のように変更した次第です。写真を大きくするとともに、当該月号の特集テーマ名に加え報文題目も表紙に示すことにしました。編集委員会では、次の検討課題として、当機関誌の表題についての審議も現在行っているところです。

さて、今月号は「ロボット技術」と題して特集を編集いたしました。建設施工用のロボットについては、まだ災害復旧等の特定条件の現場など、活用事例はまだ少ないのが現状ですが、その汎用性を高めていくためにも、今後のさらなる技術開発が期待されているところです。そのような意味からも、今月号の報文が読者の皆様の何らかの参考になればと思っております。

最後になりましたが、本特集号をとりまとめるにあたり、ご多忙にもかかわらずご執筆いただきました著者の皆様に対して、この場を借りて深くお礼申し上げます。

(星隈・奥山・西田)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

佐野 正道

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
藤田謙二郎	大林組
西田 光行	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
有光 秀雄	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
斎藤 徹	NIPPO
森 秀文	ハザマ
宮木 克己	日立建機
庄中 憲	施工技術総合研究所

2月号予告 —防災技術特集—

- ・東海地震、東南海・南海地震対策の概要について
- ・地震防災の現状と展望
- ・地震災害軽減技術の開発の現状と今後
- ・災害対策用機械とその設備
- ・中央合同庁舎3号館の耐震改修工事
- ・新材料を用いた道路構造物の耐震補強
- ・免震技術を活用したゲルバートラス橋の耐震補強
- ・厳しい施工制約条件下における鉄道高架橋の耐震補強
- ・米国ゴールデンゲートの耐震補強技術

No.647 「建設の機械化」 2004年1月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成16年1月20日印刷

平成16年1月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二丁目 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380